

プロパン・ブタンニュース

2808号 12月22日

発行所 石油化学新聞社
本社：東京都千代田区岩本町2丁目4
電話03(5833)8840 FAX03(5833)
URL: http://www.sekiyukaga
E-mail: lpg@sekiyukagaku.
振替東京00180-6-37963
支社・局：札幌・仙台・名古屋・大阪・広島・新
2008年(平成20年)

©石油化学新聞社2008年(昭和30年6月8日第3種郵便物認可) 週刊・毎月曜日発行
購読料/年間32,760円(本体31,200円)・6ヵ月16,380円(本体15,600円)

(9) 2008年(平成20年)12月22日(月曜日)

LPG併燃車を導入

業界イメージ向上へ
走る塔 広告

大分県協

大分県LPGガス協会(内田剛会長)は公用車として先進型バイフェューエル車(LPGとガソリンの併用車)を一台導入し、五、六日に大分市で開いた「青い炎の底力フェア」で初披露した。梶原静夫専務理事は



「日常業務で使用するか、イベントにも出展し、県下のLPG車普及に貢献したい」と話している。導入したのは「プロボックス・バン」(トヨタ製の先進型バイフェューエル車(気体噴射方式)。エフ・ケイメカニック(大分市)から五年リースで購入した。初期費用はガソリン車より約五十万円割高だったが、差額の半分は補助金で支払

「LPGガス車・人と地球にスマイルを」の統一ロゴマークや、青い炎のイメージキャラクターをデザインした。県業界一丸で展開している「地域安全見守り隊」活動やチームマイナス6%運動のステッカーも張り付けており、LPGガスのイメージアップを担う「走る広告塔」として運用していく方針だ。購入先のエフ・ケイメカ

先進型のLPG・ガソリン併用車

先進型のLPG・ガソリン併用車は、LPGガスの環境への優しさにちなんで「8341」(やさしい)を取得。車体

には「LPGガス車・人と地球にスマイルを」の統一ロゴマークや、青い炎のイメージキャラクターをデザインした。県業界一丸で展開している「地域安全見守り隊」活動やチームマイナス6%運動のステッカーも張り付けており、LPGガスのイメージアップを担う「走る広告塔」として運用していく方針だ。

これは、先進型気体噴射方式のバイフェューエル車として、国産車では今回のプロボックスのほか、ハイエース、ランドクルーザー、プレミオ(アリオ)、輸入車はメルセデスベンツなどをラインアップしている。LPG装置はイタリアから輸入し、自社工場車両に取り付けたうえで新車販売する方式を採用しており、改造キットの別売りは行っていない。

これまではタクシー会社など商業用ユーザーが中心ターゲットだったが、「大分県協さんの採用を足がかりに、LPGガス業界へのアプローチを強化してきたい。来年度中に軽トラックや軽ハコバンなど対応車種を増加させる見込み」(大鶴純二専務)としている。